

### 一般質問(要旨)



村田 康成 議員  
いばらき自民党  
神栖市選出

**鹿島臨海工業地帯の未来像といばらきカーボンニュートラル産業拠点創出プロジェクト**

**議員** カーボンニュートラル革命が進行する中、鹿島臨海工業地帯の未来像を示し、技術開発の支援、カーボンニュートラル港湾への転換を図ってもらいたい。このプロジェクトに、どう取り組むのか。  
**知事** 鹿島臨海工業地帯は、次世代エネルギー需給体制を先導的に構築する適地である。規制緩和や税財政支援などを積極的に提案し、民間の先進的取り組みを誘導する。鹿島港も、カーボンニュートラルポートのトップランナーを目指す。



大瀧 愛一郎 議員  
いばらき自民党  
常陸大宮市選出

**いばらきカーボンニュートラル産業拠点創出プロジェクト等の展開**

**議員** カーボンニュートラル社会実現には、臨海部の産業集積地域だけでなく、温室効果ガスの吸収面に着目した取り組みも必要である。地産地消型の木質バイオマス発電なども対象としたプロジェクト拡充も検討すべきだが、所見は。  
**知事** 木質バイオマス発電などは課題があり、慎重な検討が必要である。カーボンニュートラルは林業の成長チャンスになり得るため、臨海部の取り組みとの連動が効果的ならば必要に応じ検討する。

**鹿行地域における医師確保の成果と課題並びに医師の地域偏在の是正**

**議員** 県の医師確保により、神栖済生会病院でも2年前より外科、内科、整形外科などで常勤医が増えた。一方、救急医療、産婦人科、小児科の現状には不安が残っている。この改善と医師の地域偏在のさらなる是正にどう取り組むか。  
**保健福祉部長** 神栖済生会病院の整形外科医など、医師確保に全力で取り組んでいる。また、医師配置調整スキーム※に基づく医師派遣をより効果的なものにしていく。  
(ほかに、神栖市高校教育の改善と未来の人財育成なども質問)



新しいカーボンニュートラル鹿島に向けて

**県北山間地域における水道供給体制の課題と水道広域化の推進**

**議員** 過疎化が進む地域では、市町村単独での水道管更新などに限界が来ている。水道事業の広域化を検討すべきと考えるが、所見は。  
**県民生活環境部長** 水道事業環境が厳しくなることを踏まえ、現在、茨城県水道ビジョンの策定作業を進めている。県と市町村の水道事業を全て統合すべきとの専門家意見もあり、市町村と連携し、安定的な水道供給体制整備に取り組む。(ほかに、新たな県北振興チャレンジ、郷土愛と起業家精神の醸成なども質問)



今後のベースロード電源となり得る木質バイオマス発電(日立造船株式会社より提供)



中村 はやと 議員  
無所属  
古河市選出

**県民の声を聴き 県政に反映させる取り組み**

**議員** 昨年、県民からの直接請求による県民投票条例案が、議会で審議された。県民の声を広く聴き取る機能は、執行機関でも重要であるが、県民の声を県政に反映させる取り組みをどう進めるのか。  
**知事** 広聴事業については、知事就任後すぐに「知事と県民の対話集会」を少人数・座談会方式に改めるなど従来型の手法を見直してきた。今後も県民の声を聞き漏らすことのないよう事業手法を評価・検証し機能強化を図っていく。

**農業者の経営に係る支援の強化**

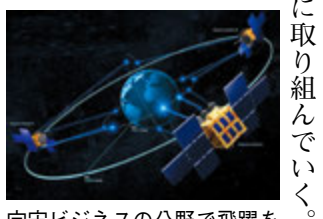
**議員** 本県農業の持続的発展を支えるためには、農家への情報発信や経営に係る相談にきめ細かく対応していく必要があるが、所見は。  
**農林水産部長** 県では現場に近い農業改良普及センターが、農業者の経営規模や形態にかかわらず、新たな栽培技術の導入などを支援している。また県広報紙「ひばり」などによる情報発信に加え、市町村の経営改善相談会なども活用し補助事業などを広く周知していく。  
(ほかに、看護師の確保、交番・駐在所再編後の成果なども質問)



県民の声が反映される県政の様子(県民との対話集会)

**医療的ケア児とその家族への支援**

**議員** 本年6月に医療的ケア児支援法が成立し、医療的ケア児への支援は、国や地方公共団体の責務へと改められた。新法を踏まえ、支援をどう強化していくのか。  
**保健福祉部福祉担当部長** 今年度中に実態調査を実施するほか、保育所や学校での医療的ケア児の受け入れ支援などに取り組む。居住地域にかかわらず、等しく適切な支援を受けられるよう、引き続き支援の充実に取り組んでいく。(ほかに、意欲ある農業人材の確保、中通川の整備なども質問)



宇宙ビジネスの分野で飛躍を(株式会社ワークスペースより提供)

**「変革期をリードする新時代の茨城づくり調査特別委員会」の中間提言を行いました**

本委員会(森田悦男委員長)は、今年3月の設置以降、財政基盤と行政組織の強化をはじめ、出資団体改革などの推進や、国の成長戦略の下で進められているデジタル化を主要な柱として審議を進めてきました。  
この間、県執行部からは調査テーマに係る現状などの説明を聴取したほか、大学教授や先端技術の研究者、医師や企業の代表者など、各分野の第一線で活躍する有識者から意見を頂きながら、活発な議論を行ってきました。  
中間提言では、人口減少への戦略的対応をはじめ、誰もが活躍できる暮らしやすい茨城を目指し、重点的に取り組むべき事項を取りまとめました。  
また、新たな総合計画の策定に当たっては、本提言の趣旨を十分に尊重するとともに、政策・施策はもとより予算や組織体制などに適宜的確に反映し、効果ある施策を速やかに実施するよう知事に求めました。  
今後も最終提言の取りまとめに向け、引き続き調査検討を進めてまいります。



調査報告(中間提言)を行う田口伸一副委員長

**決算特別委員会を開催しました**

10月19日に委員会を開催し、「令和2年度茨城県営企業会計決算の認定」および「令和2年度茨城県営企業会計に係る利益の処分」について、審査を行いました。  
審査に当たっては、公営企業を所管する企業局、病院局および土木部の各部局から事業実績などの説明を聴取するとともに、代表監査委員に決算審査意見を求め、詳細な審査を行いました。

※【医師配置調整スキーム】…県内の政策医療機関や医師派遣元の大学、県医師会などで構成する協議会で、地域医療の課題と医師派遣の必要性を協議し、大学などへ医師の派遣要請を行う仕組み。さらなる医師の地域偏在是正に向け、今年4月から、この仕組みによる医師派遣が行われている。